



東高だより

2015 No.8

〒984-0832
仙台市若林区下飯田字高野東70番地
Tel 022-289-4140 Fax 022-289-4383
<http://higasi-h.myswan.ne.jp/>

<芸術鑑賞会 11月10日(火)>

今年度の芸術鑑賞会は演劇でした。演目の「ザ・ウインド・オブ・ゴッド」は、太平洋戦争における神風特別攻撃隊をテーマとした、故今井雅之氏作の戯曲・小説です。今井氏の舞台公演により1988年から国内外で上演が始まり、1995年に最初の映画化が行われました。1991年には「文化庁芸術祭賞」、1993年には「国際連合作家協会芸術賞」を受賞された作品です。今回「シアター青芸」の皆さんに上演していただきましたが、この劇団にとって本作品は、上演回数がすでに1000回を超える代表作品ということですので、そういうわけで大変完成度の高い演劇を鑑賞することができ、感動した人も多かったのではないのでしょうか。皆さんに書いてもらった感想もいくつか紹介します。



<1年生>

見ていて、とても引き込まれる内容でした。音や動作がとてもリアルで迫力がすごかったです。戦争をよく知らない私達にとって、とても良い経験になりました。

<1年生>

今日の芸術鑑賞会によって一人ひとりの特攻隊にかけの想いや、その時代の苦しさがとても伝わってきた。自分たちが今生きている世界は本当に平和なんだと改めて思い、毎日毎日を大切に生きていこうと思った。



<1年生>

現代人が70年前の特攻隊に志願した人々に会ったら、どのような差を感じるのかとか、終戦直前に特攻に選ばれた人々の心境が今までより理解できたと思う。

<1年生>

今回の劇から、戦争を絡めたストーリーを通して、「今をもっと大切にする事」を再認識しました。そして、自分も誰かのために力を尽くすことができるように、これからの生活や勉強、部活を頑張りたいと強く思いました。

<2年生>

集中して見ていたらストーリーにすごいひきこまれていって、楽しかったし、平和について改めて考えるよい機会になった。

<3年生>

改めて今の自分の環境がめくまれていることを感じる事ができた。夢を持ってそれを叶えるために努力するチャンスがあることは幸せなことだと思った。自分も役者を目指しているのだから、辛くてもあきらめずに頑張ろうと思う。素晴らしい戯曲をありがとうございました。

<1年生>

とてもおもしろかったです。お笑い芸人という設定なのもあって笑えるシーンがたくさんありました。また、戦争中の兵士さんたちの想いも少しではありますが理解できた気がします。今この平和な時代にいる私たちは、自分が本当に好きな事、やりたいと思っている事に全力を尽くし、また、それをやっている事に感謝したいなと思います。



<2年生>

最後に主演の方がおっしゃっていたように、今の若者はやりたい事をして生きることができます。なのでこの時代の方達の生き方を知ることができるとても良い機会になりました。

<3年生>

最初から最後まで見入って時間があっという間に過ぎていきました。戦争について詳しく知るとともに、命の大切さをも知ることができました。

<3年生>

演技や照明、音など全体的に迫力があって物話もとてもおもしろかったです。

<3年生>

最初は戦争系のお話だと聞いて、正直嫌だったけど、今回演劇を観て、自分が今平和な世の中に生きていられること、生きていることについてのありがたみを実感できて、とても貴重な時間だった。でも、昨年度とのギャップがありすぎて、今年は重いなぁと思ってしまった。

<3年生>

この演劇をとおして、戦争でどんなことがあったかなどを知ることができました。日常のありがたみを改めて実感できました。

<3年生>

今の日常が、こんなに幸せで、1日1日を大切にしていかななくてはいけないのかを感じました。自分が、したいことができる可能性があるのは幸せなことなので、今できることを精一杯していきたいと思います。

